

東北地方 1か月予報

(9月30日から10月29日までの天候見通し)

平成18年9月29日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

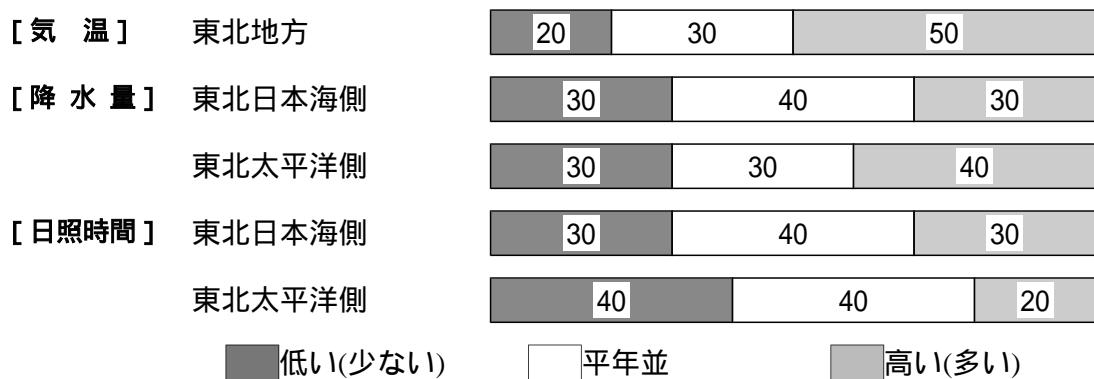
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

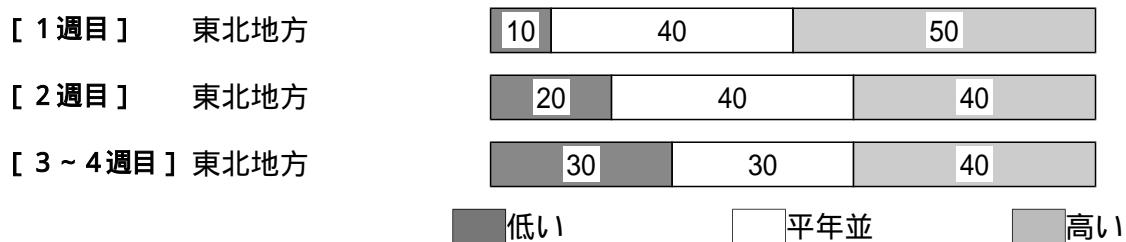
向こう1か月の平均気温は東北地方で高い確率が50%、日照時間は東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%でしょう。

週別の気温は、1週目は東北地方で高い確率が50%、2週目は東北地方で平年並または高い確率がともに40%でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月30日(土) ~ 10月29日(日)

1週目 : 9月30日(土) ~ 10月 6日(金)

2週目 : 10月 7日(土) ~ 10月13日(金)

3~4週目 : 10月14日(土) ~ 10月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は10月6日

3か月予報:10月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	12.9	100.9	149.2	15.3	13.7	11.6
深浦	13.6	158.8	133.4	15.8	14.4	12.4
むつ	12.5	112.6	155.9	14.8	13.3	11.3
八戸	13.0	75.5	158.1	15.3	13.8	11.8
秋田	13.9	151.6	144.5	16.3	14.7	12.6
盛岡	12.1	94.8	144.4	14.6	13.0	10.7
大船渡	14.0	142.8	141.5	16.2	14.8	12.8
宮古	13.3	112.2	150.1	15.5	14.2	12.2
仙台	15.1	105.2	145.2	17.3	15.9	13.9
石巻	14.4	105.3	152.9	16.7	15.3	13.3
山形	13.5	75.7	126.7	16.0	14.4	12.2
新庄	12.6	145.6	102.0	15.2	13.6	11.3
酒田	14.9	165.1	139.2	17.2	15.7	13.8
福島	15.0	99.3	134.1	17.4	15.9	13.8
若松	13.5	76.5	116.0	16.1	14.5	12.1
白河	13.4	114.0	137.1	15.7	14.3	12.3
小名浜	16.3	156.4	148.0	18.4	17.1	15.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.2	79 ~ 108	96 ~ 104
東北日本海側	-0.5 ~ +0.3	84 ~ 111	95 ~ 104
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.3	67 ~ 114	96 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.5	-0.7 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.4
東北日本海側	-0.5 ~ +0.5	-0.7 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.4
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.6	-0.4 ~ +0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成18年9月29日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(9月30日～10月29日)：

東北日本海側では、天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、期間の前半は低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が50%です。

1週目(9月30日～10月6日)：

気圧の谷や前線の影響で曇りの日が多く、東北南部では、雨の降る日があるでしょう。東北北部では、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日もある見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

2週目(10月7日～10月13日)：

東北日本海側では、天気は数日の周期で変化し、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

3～4週目(10月14日～10月27日)：

天気は数日の周期で変化し、東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

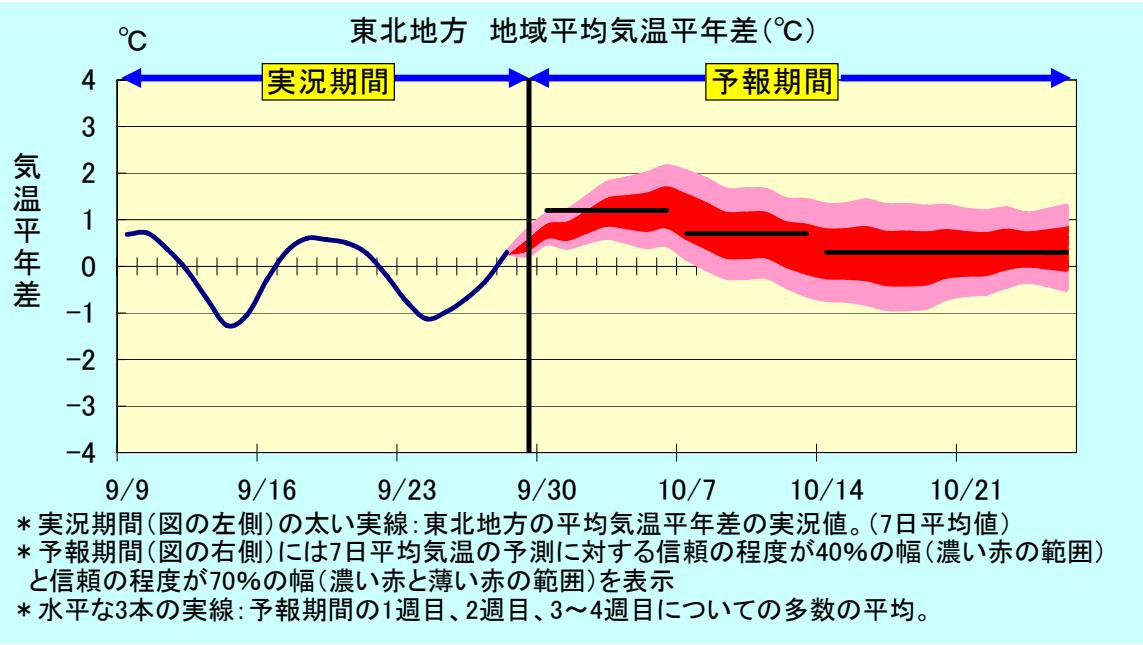
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	13.8日	3.7日	3.3日	6.8日
東北太平洋側	16.0日	3.7日	3.7日	8.6日

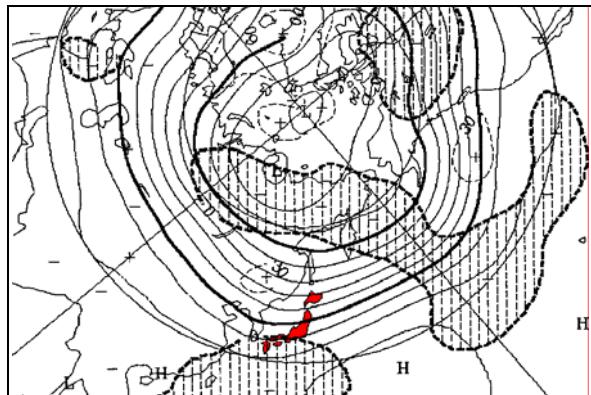
2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目と2週目は平年を上回り、3～4週目は平年並ですがやや平年を上回ると予測しています。なお、数値予報の信頼度は小さい。



2. 月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

月平均：月平均では、日本の北は正偏差、日本の南海上では負偏差で太平洋高気圧の西への張り出しが弱い。このため、高気圧が北に偏って通過しやすい。東北太平洋側では前線や湿った東風の影響をうけることもあり、平年に比べて曇りや雨の日が多い見込み。太平洋高気圧のふちを回る暖かく湿った南よりの気流が入り、前線の活動が活発化することがある見込み。東北日本海側では天気は周期的に変化し、平年と同様に晴れの日が多い見込み。

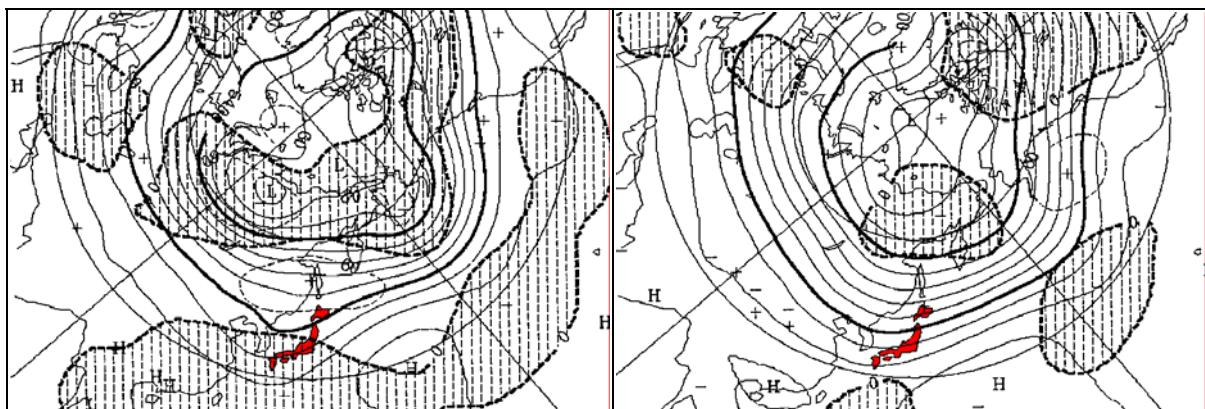


月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

1週目：日本の北で正偏差が明瞭。東日本以南では負偏差。このため、日本の北を高気圧が通過することが多い見込み。また、本州南岸の低気圧や前線の影響を受ける時期がある見込み。気温は高温になる可能性が大きい。

2週目：1週目にみられた日本の北の明瞭な正偏差は弱まる。日本の南海上では引き続き負偏差。東北日本海側では平年同様に数日の周期で天気が変化する見込み。東北太平洋側では低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多い見込み。



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (9月22日～9月28日) の天候の経過

この期間の前半は、台風第14号が東方海上を北上したが、東北地方の天候への影響はほとんどなく、北の高気圧に覆われて晴れの日が続いた。27日は低気圧が発達しながら三陸沖を北上したため、太平洋側を中心に大雨となり、浸水害などの被害があった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北南部で多い。

